



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月5日

上場会社名 わらべや日洋株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2918 URL <http://www.warabeya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妹川 英俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 森浦 正名 (TEL) 042-345-3131  
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	42,705	13.0	1,303	△5.9	1,322	3.4	796	156.0
24年2月期第1四半期	37,789	0.4	1,385	27.6	1,279	17.4	311	△53.5

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 800百万円(154.4%) 24年2月期第1四半期 314百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	47.94	—
24年2月期第1四半期	18.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	63,264	33,989	53.7
24年2月期	62,036	33,521	54.0

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 33,989百万円 24年2月期 33,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,800	5.4	2,570	△6.3	2,700	△5.2	1,500	36.1	90.28
通期	171,000	4.7	4,500	10.0	4,600	10.9	2,300	23.5	138.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	16,625,660株	24年2月期	16,625,660株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	10,766株	24年2月期	10,766株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	16,614,894株	24年2月期1Q	16,615,014株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 8
(4) セグメント情報等 .....	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景として、緩やかな景気回復基調で推移しました。

一方、食品業界では、消費者の節約志向や低価格志向などにより、厳しい市場環境が継続し、また「食」市場全体では、スーパーストア、コンビニエンスストア、外食チェーンなどが、業種・業態の垣根を越えて、激しい競争を繰り広げています。

このような状況下、当社グループは、主要顧客であるセブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店や、チルド商品の販売伸長などにより、順調に売上を拡大しました。また、当社は3月に新設した商品本部に、商品開発の機能、権限を集約し、さらなる商品開発力の強化に努めるとともに、消費者の安全・安心へのニーズに応えるため、グループ一丸となって品質・衛生管理の徹底に取り組んでいます。このように、当社グループは、「食」創りのすべてを手がけ、「食」を進化させ続けるフード・イノベーターを目指し、高品質で価値ある商品づくりに邁進しています。

この結果、当第1四半期の売上高は427億5百万円（前年同期比49億1千5百万円、13.0%増）、営業利益は13億3百万円（前年同期比8千2百万円、5.9%減）、経常利益は13億2千2百万円（前年同期比4千3百万円、3.4%増）となりました。四半期純利益は、前年同期に計上した特別損失（災害による損失2億3千8百万円および資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4億3千万円）が解消し、7億9千6百万円（前年同期比4億8千5百万円、156.0%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

## [食品関連事業]

首都圏、関西、東海、北陸地区を中心とした納品店舗数の増加、また、チルド温度帯の商品である「和菓子」や「ロールパン」、「パスタ」などの売上伸長により、売上高は327億9千万円（前年同期比35億6千4百万円、12.2%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、米価の上昇などにより10億6千2百万円（前年同期比2億7千6百万円、20.6%減）となりました。

## [食材関連事業]

水産加工品や鶏加工品の取扱高が増加したことなどにより、売上高は53億2千2百万円（前年同期比5億3千1百万円、11.1%増）、営業利益は8千3百万円（前年同期比3千4百万円、69.3%増）となりました。

## [物流関連事業]

前期の震災影響が解消し、ネットスーパー関連の宅配事業が増収したことや、セブン-イレブンの店舗増加に伴い、共同配送事業の取扱高が増加したことなどにより、売上高は29億7千1百万円（前年同期比3億3千1百万円、12.5%増）、営業利益は7千2百万円（前年同期比5千8百万円、429.2%増）となりました。

## [その他]

人材派遣事業において、前期の震災影響が解消し、自動車業界向けおよび電子・電機業界向け受注が増加したことにより、売上高は16億2千万円（前年同期比4億8千8百万円、43.2%増）、営業利益は1億4百万円（前年同期比9千2百万円、748.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて12億2千8百万円増加し、632億6千4百万円となりました。これは売掛金が増加したことによるものです。

負債については前連結会計年度末に比べて7億5千9百万円増加し、292億7千5百万円となりました。これは、買掛金および未払金が増加したことによるものです。

純資産については前連結会計年度末に比べて4億6千8百万円増加し、339億8千9百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想は、平成24年4月13日付「平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しました数値から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,619	922
受取手形及び売掛金	14,243	15,690
商品及び製品	3,121	3,326
原材料及び貯蔵品	647	705
その他	2,539	2,404
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	22,151	23,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,891	39,174
減価償却累計額	△22,256	△22,663
建物及び構築物(純額)	16,634	16,511
機械装置及び運搬具	15,228	15,429
減価償却累計額	△10,996	△11,197
機械装置及び運搬具(純額)	4,231	4,232
土地	12,692	12,692
建設仮勘定	205	80
その他	4,065	4,519
減価償却累計額	△1,759	△1,896
その他(純額)	2,306	2,623
有形固定資産合計	36,070	36,139
無形固定資産		
その他	696	653
無形固定資産合計	696	653
投資その他の資産		
その他	3,204	3,528
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	3,118	3,442
固定資産合計	39,885	40,234
資産合計	62,036	63,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,929	8,467
1年内返済予定の長期借入金	1,648	1,645
未払金	5,840	6,101
未払法人税等	1,477	630
賞与引当金	701	1,085
役員賞与引当金	—	35
その他	1,984	2,447
流動負債合計	19,581	20,414
固定負債		
長期借入金	4,205	3,842
退職給付引当金	1,920	1,916
資産除去債務	761	765
その他	2,046	2,336
固定負債合計	8,934	8,860
負債合計	28,515	29,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,285	7,285
資本剰余金	7,379	7,379
利益剰余金	18,971	19,435
自己株式	△16	△16
株主資本合計	33,620	34,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	15
繰延ヘッジ損益	32	7
為替換算調整勘定	△147	△118
その他の包括利益累計額合計	△99	△95
純資産合計	33,521	33,989
負債純資産合計	62,036	63,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	37,789	42,705
売上原価	31,559	36,112
売上総利益	6,230	6,593
販売費及び一般管理費	4,844	5,289
営業利益	1,385	1,303
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	1	11
受取賃貸料	63	41
その他	42	49
営業外収益合計	110	106
営業外費用		
支払利息	46	34
固定資産除却損	100	16
賃貸収入原価	38	24
その他	30	12
営業外費用合計	217	87
経常利益	1,279	1,322
特別利益		
貸倒引当金戻入額	26	—
特別利益合計	26	—
特別損失		
災害による損失	238	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	430	—
特別損失合計	669	—
税金等調整前四半期純利益	636	1,322
法人税、住民税及び事業税	574	640
法人税等調整額	△249	△114
法人税等合計	324	525
少数株主損益調整前四半期純利益	311	796
少数株主利益	0	—
四半期純利益	311	796



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△0
繰延ヘッジ損益	5	△25
為替換算調整勘定	9	29
その他の包括利益合計	3	4
四半期包括利益	314	800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313	800
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	29,226	4,790	2,640	36,657	1,131	37,789	—	37,789
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	308	491	800	2,785	3,585	△3,585	—
計	29,226	5,099	3,131	37,458	3,917	41,375	△3,585	37,789
セグメント利益	1,338	49	13	1,401	12	1,414	△28	1,385

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△28百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	32,790	5,322	2,971	41,085	1,620	42,705	—	42,705
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	341	614	956	2,978	3,934	△3,934	—
計	32,790	5,664	3,586	42,041	4,598	46,640	△3,934	42,705
セグメント利益	1,062	83	72	1,218	104	1,323	△19	1,303

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。